

令和5年度 いのちの授業 事例集（小学校）【朝会】

掲載数

7

地区	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 横須賀市	小複合	朝会	人権 ジェンダーバイ アス（性の偏 見）について	ジェンダーバイアスとは、人や社会が無意識の性差や男女の役割などについて、固定的な思い込みや偏見をもつこと。 無意識のうちに、男の子らしく、女の子らしくとイメージが先行してしまうことがあることに気付き、イメージがすべて間違っていることはないが、時としてすべてが正しいことではないということ。また、ジェンダーの意見を他人に押し付けることをしないことについて考えを深めた。	
2 県央	小複合	朝会	やわらかい心 かたい心	一人ひとりが大切にされ、楽しく生きていくには何が必要か、人権週間中の朝会で、人権担当の教師から講話をした。やわらかい心とかたい心を比較するために、実際にスポンジと皿を用意し、ぶつけ合ったらどうなるかを考えるとともに、「今、自分の心はやわらかいのか、かたいのか」を問い、自分と向き合う時間を作った。さらに、やわらかい心になるために、全校で「あたたかい言葉」を使っていくことを確認した。	対象：1年生～6年生
3 県央	小複合	朝会	防災教育	3学期の始業式で能登半島沖地震の話があった。今こうやって全校児童が集まっているのは当たり前ではないこと。一人ひとりが自分のできることを考えて行動することが大切だという話があった。地震のニュースを伝えるキャスターは鬼気迫る様子で避難の案内をしていた。これは、東日本大震災で、油断をして、避難せず、逃げ遅れた人がいたため工夫されて読まれている。児童たちも真剣に話を聞き、その後学級で災害時に大切なことを考えた。	児童指導担当
4 県央	小複合	朝会	命をいただく	「いのちをいただく」の本を提示しながら、校長先生が話をした。命を解くという言葉があることや、今食べている食べ物がどのようにみんなの元へ届いているのかを知ることにつながった。子どもたちからも、食べ物を大切に作る気持ちや、「いただきます」の意味について考えている様子が見られた。	校長先生 絵本「いのちをいただく」の本
5 県央	小複合	朝会	人権	人権週間の前に、人権を啓発するためのパワーポイントを作成し、朝会で啓発をした。この朝会を通して人権について全学年の児童が考えることができた。そして、12月4日からの1週間の人権週間において、考え学んだことを実践することとした。	人権担当教員

6	県央	小複合	朝会	校長先生・教頭先生による絵本読み聞かせ	司書の先生と相談し、人権に関する書籍「勇気」「いえるよ！NO」という絵本の読み聞かせを行った。「いえるよ！NO」では、自分を守るための「NO」を伝える大切さや、なぜ「NO」と言いづらいのか、など考える機会となった。	「勇気」「いえるよ！NO」
7	県西	小複合	朝会	人権朝会	人権週間に合わせて人権朝会を行った。人権について説明した後にヨシタケシンスケさんの絵本「りんごかもしれない」を読み聞かせ、さらにその後各学級で「このりんごは○○かもしれない」のワークシートに取り組んだ。児童は、一つの考えにしばられないことのおもしろさ、どんな考えも大切だということを感じ取った。それぞれが思い思いのりんごを描き、鑑賞し合うことで、自分のよさ、友だちのよさを認め合う場となった。	絵本「りんごかもしれない」ヨシタケシンスケ著 ブロンズ新社出版 ワークシート「りんごかもしれない おえかきシート」ヨシタケシンスケ 全校児童